

わが町内会

北光第九分区町内会長 深谷 和明

1・わが町内会

最大特徴は、北光まちづくりセンター、児童会館、美香保小・中学校、3か所の保育園、多くの福祉施設等を擁する文教・福祉地区です。

2・活動の思い

様々な機会の中で、町内会員同士の親睦を深める取り組みと、当該地域で様々活動されている方々と地域交流を図り、より安全で安心できる地域を目指していく。

3・主な活動

- (1) 環境美化活動～園児・児童が多数利用する「北光らいらっく公園」の清掃、歩道の花いっぱい運動、スクールゾーンの美化活動に取り組み、今年度「環境大臣表彰」を受賞しました。
- (2) 防犯・交通安全活動～美香保小周辺で登下校児童の見守り、パトロール、挨拶活動や、老人クラブとの合同啓発活動など。
- (3) 災害対策～「北海道胆振東部地震」発生時に避難所支援を体験した教訓から、地域関係者、老人クラブ等との意見交換、活用資器材の整備、安否確認の研鑽など。
- (4) 福祉活動～傘寿(80歳)会員へのお祝い品贈呈、民生委員協力による見守りや相談対応、サロン「お昼の唄カフェ」主催、福祉施設の活動支援など。
- (5) 他に子供会の育成、日帰り旅行、子供祭り、運動会などの親睦と地域力向上。

4・結び

「町内会参加でよいことあるの」との声もあります。「地域を支えてくれている会員の応援団はどうでしょう」「体験参加で町内会を知って貰うのはどうです」広報活動の大切さを感じつつ日々取り組みしている九分区町内会です。



写真は環境大臣表彰状と町内会役員

令和三年を迎えて!!!

日本人の感性と令和の意味

北光第四町内会長 坂本 勝義

皆様も一度は聞いたことがあると思いますが、令和の出典は「万葉集第五巻梅花の唄三十二首」の序文で大伴旅人(大宰府の長官)が詠む

「初春令月、気淑風和」

(初春のうるわしい月、空気がしと淑やかで風がやわらかである)

から導かれたものです。

(写真大宰府観光協会パンフより)

今までの元号は中国古典からのものでした。今の元号「令和」は自然描写の中より日本独自の、日本人にふさわしい言葉を選びすぐった言葉です。

この様に日本には自然に寄せた詩歌や和歌があり、受け止めてきた日本人独自の感慨があります。また季語を必要とする俳句も素晴らしく、これもまた日本人独自の感性の表れのようなのです。このことを心して「令和」を使う日本人は頼もしいと思います。

コロナの中、明るい明日を目指し、心健やかに希望を大きくもって進もうではありませんか。



町内会よもやま話

北光第四町内会広報部 丸谷 正治

「いい話と悪い話」どちらから聞きたいと聞かれ・・・。

まず町内の悪い話から

2018年1月 ソシアルハイム失火!! 痛ましくも11名の方が亡くなりました。この季節は比較的火災が多い時期です。コンロ・タバコ・ストーブ・コンセント・仏壇、これらが原因の火災が多いようです。たとえ命があっても財産が一瞬にして失われます。たこ足配線・コンセントのホコリには気を付けましょう。

明るい話

第4町内会には45か所のゴミステーションがあります。5年前からカラス対策に取り組みました。カラスはいなくなりましたが、欲が出て設備を蓋つきの折り畳み式に整備しました。(写真受賞時とゴミ箱)



2021年に環境整備美化を認められて市長賞の団体部門で表彰されました。コロナに負けず、希望に向け町内会一同で頑張ります。

今年を振り返って

北光第十分区町内会長 大信田 俊治

当町内会は北光地区の東側に位置し、北17条東8丁目から北19条東15丁目に至る全会員1300所帯の大所帯です。

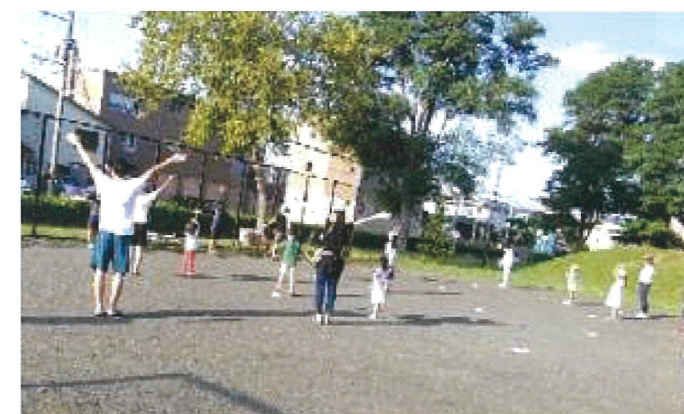
会長職も初代会長から数えて16代になり、昔は一軒家が多かったのですが、世代交代もありアパート、マンションが建ったため人口数は減少傾向にあります。

連合町内会の活動は新型コロナウイルスの影響で町内会活動はなかなかできない状況でした。

また町内会としての単独の行事は、春には公園清掃、花植え、子供神輿、夏には公園でラジオ体操、子供盆踊り、秋には旅行会、正月には新年会を実施の予定でしたが実施することはできませんでした。唯一夏休みのラジオ体操だけは北栄公園で青少年部が中心となり、たくさんの方の町内の皆様の参加により実施しました。

来年度は、新型コロナウイルスも収束し、連合町内会活動も再開することを祈念します。

▼ソーシャルディスタンスでの体操と啓発ポスター



(円山動物園ホームページに掲載されていました。)